

1 章

公共交通に関する現況整理

1章 公共交通に関する現況整理

1-1 地域特性の整理

(1) 位置・地勢

本市は、茨城県の北東端に位置し、県庁所在地の水戸市までは約 50 km、東京までは約 180 km の距離にあります。北は福島県いわき市、西は福島県東白川郡塙町、南は高萩市と接し、東は太平洋に面しています。

本市の面積は、186.79 km² と広大な市域を有しており、山林が約 70% を占め、阿武隈高地南端に位置する多賀山地が海岸まで迫り、平地が少ない地形となっています。

本市の主な交通幹線は、J R 常磐線、国道 6 号線、常磐自動車道があり、鉄道、自動車ともに首都圏と東北地方を結び、これによって、日立市、高萩市、いわき市などとも結ばれています。

また、市内には J R 常磐線の南中郷駅、磯原駅、大津港駅の 3 駅と、常磐自動車道の北茨城 I C を有し、交通の要となっています。

■北茨城市の位置



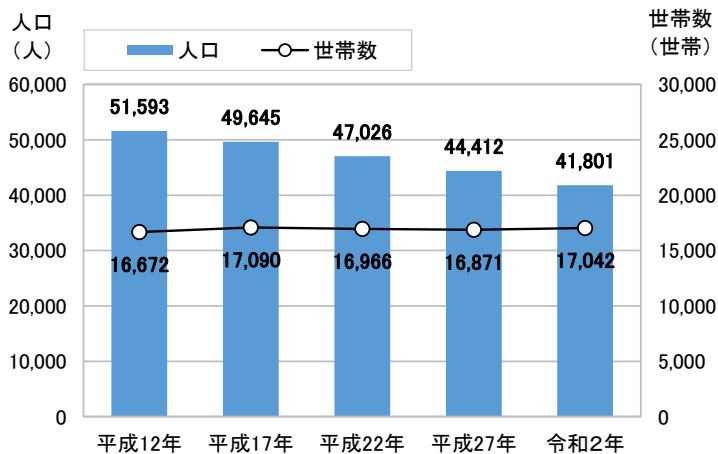
(2) 人口動向

①総人口・世帯数

北茨城市の総人口は令和2年10月1日現在、41,801人で、直近10年間の推移として平成22年と令和2年を比較すると、5,225人減少しています。

また、世帯数は令和2年10月1日現在、17,042世帯で、ほぼ横ばい傾向にありますが、1世帯当たりの人員は平成22年が2.77人/世帯に対し、令和2年が2.45人/世帯と減少しています。

■総人口・世帯数の推移



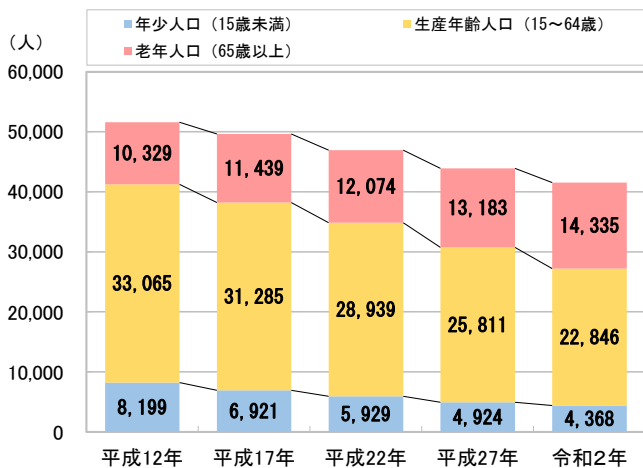
出典：国勢調査（各年10月1日現在）

②年齢3区分別人口

年齢3区分別人口構成比（令和2年）は、年少人口が10.5%、生産年齢人口が55.0%、老年人口が34.5%となっており、推移を見ると、年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口の割合が増加しています。

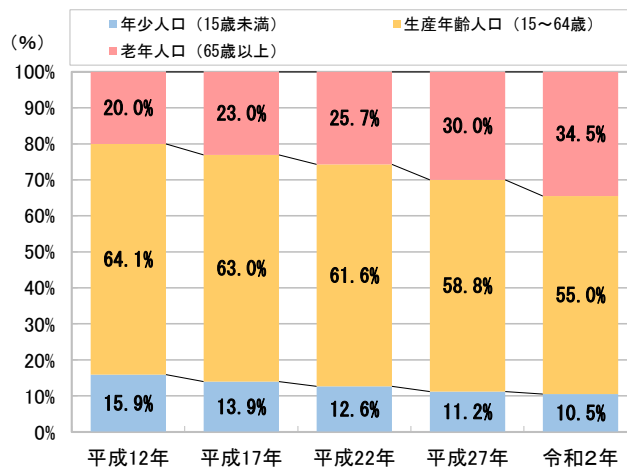
令和2年の高齢化率は34.5%で、国（28.0%）や茨城県（29.3%）と比較するとその割合は高い状況になっています。

■年齢3区分別人口の推移

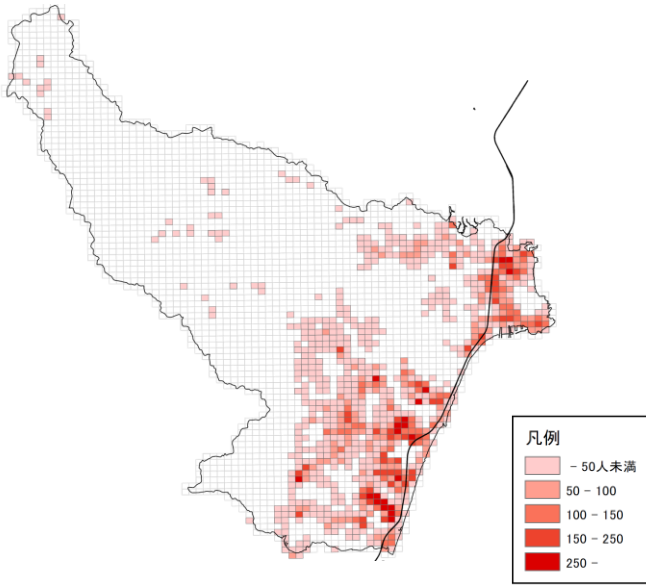


出典：国勢調査（各年10月1日現在）

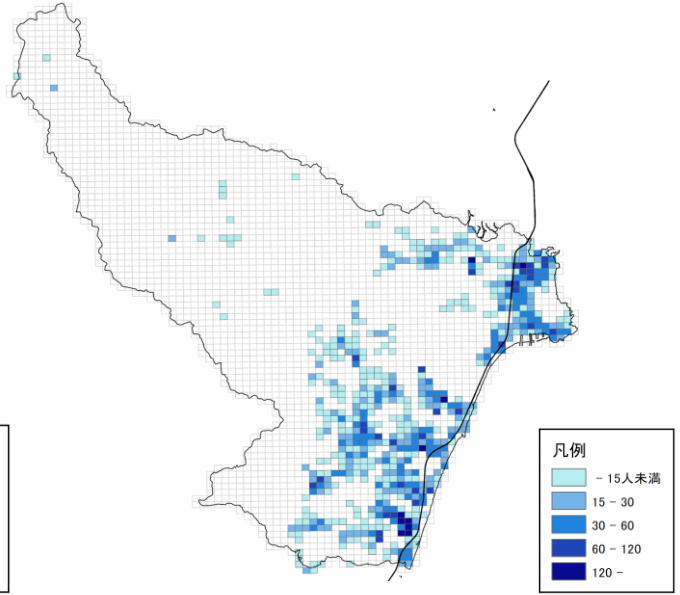
■年齢3区分別人口構成比の推移



■250m メッシュ人口分布図



■高齢者人口分布図

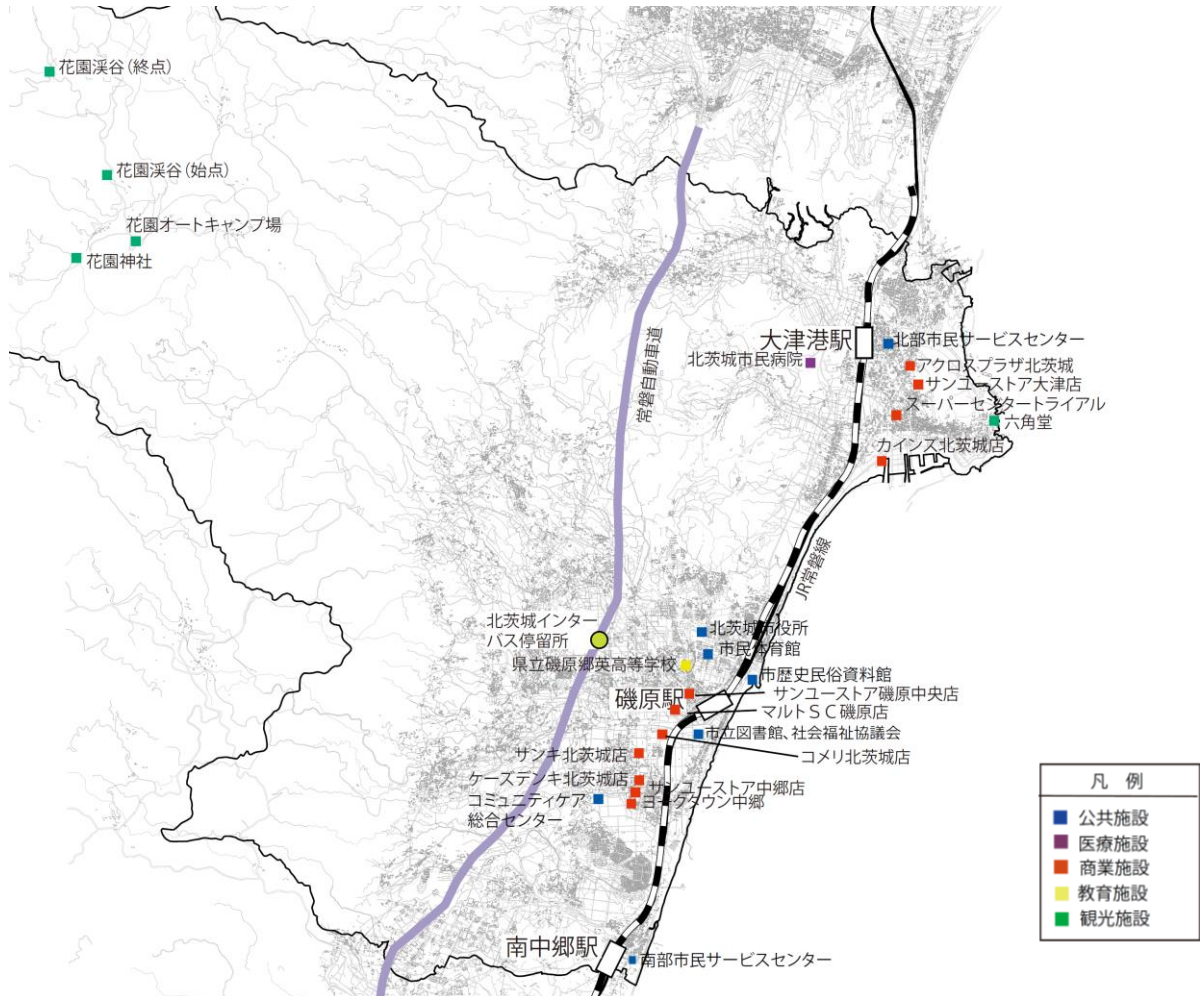


出典：国土数値情報（国土交通省）

(3) 主要施設等分布状況

主要施設については、市役所などの公共施設、商業施設、医療施設及び観光施設などはJ R常磐線の大津港駅と磯原駅の2つの駅を中心に立地しています。

■主要施設分布図



(4) 観光動向

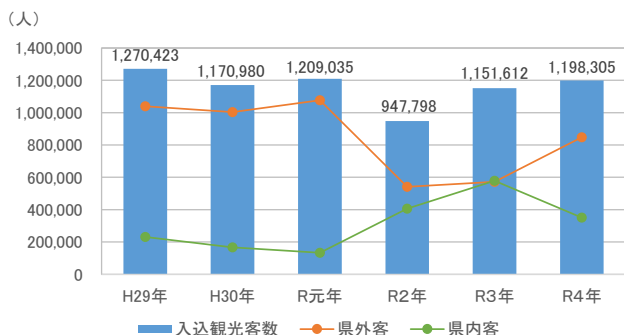
本市の年間観光入込客数は、令和2年は約95万人で令和元年と比較すると78.4%と減少しましたが、令和3年には回復傾向にあります。内訳をみると、県外からの宿泊での観光客は半減し、一方で県内からの日帰り客が増え、ほぼ自家用車を利用して訪問しています。

■観光入込客数の推移
(単位：万人)

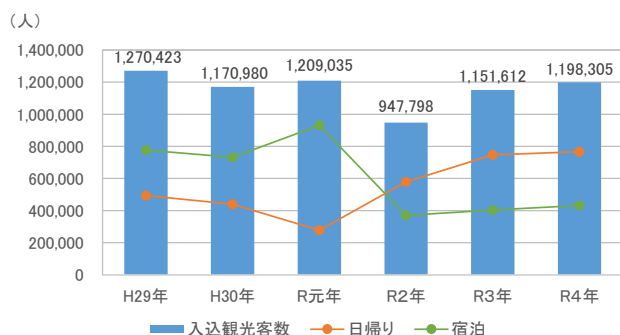
	入込観光客数	日帰り・宿泊の別		居住地別		利用交通機関別		
		日帰り	宿泊	県外客	県内客	定時交通機関	観光バス	自家用車他
H28年	128.0	54.9	73.1	91.9	36.1	9.1	5.8	113.2
H29年	127.0	49.4	77.6	103.9	23.1	6.4	3.6	117.1
H30年	117.1	43.9	73.2	100.4	16.7	9.6	2.5	105.0
R元年	120.9	27.8	93.1	107.6	13.3	19.9	9.1	91.9
R2年	94.8	57.8	37.0	54.1	40.7	4.0	1.8	89.0
R3年	115.2	74.7	40.4	57.2	57.9	15.0	7.6	92.6
R4年	119.9	76.7	43.1	84.8	35.1	0.4	2.2	117.3

※調査地点：花園溪谷・五浦海岸・磯原二ツ島海岸・野口雨情記念館
出典：統計きたいばらき

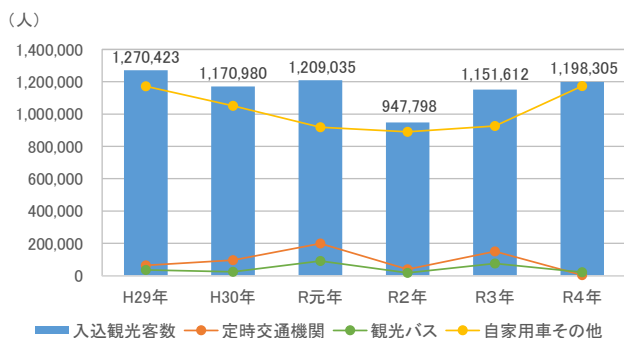
■観光入込客数の推移（居住地別）



■観光入込客数の推移（日帰り・宿泊別）



■観光入込客数の推移（利用交通機関別）



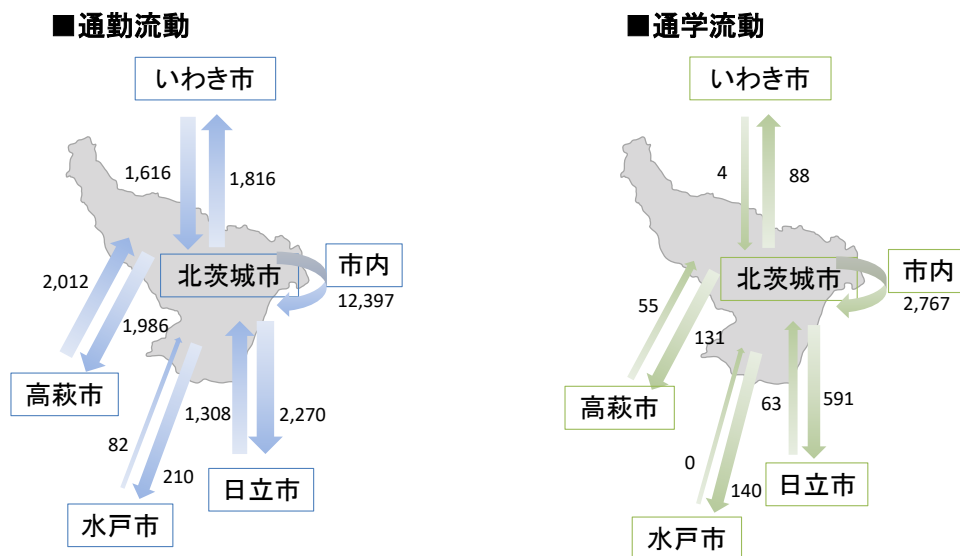
(5) 交通特性

①通勤流動

令和2年国勢調査によると、本市の就業者数 19,821 人のうち、市内で働いている人は 12,397 人 (62.5%)、市外に通勤している人は 7,424 人 (37.5%) となっています。

また、市外では、日立市へ通勤している人は 2,270 人と最も多く、次いで高萩市へ通勤している人は 1,986 人と多くなっています。

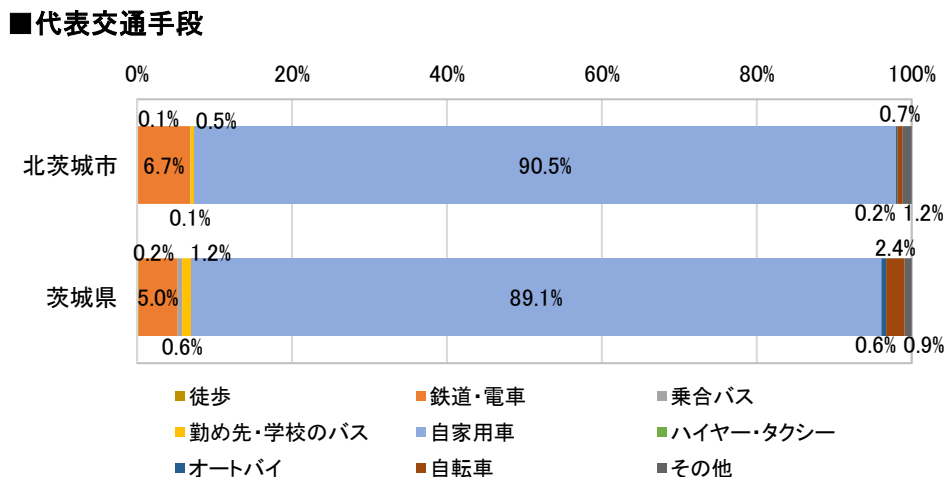
一方で、本市への市外からの通勤者は、高萩市から 2,012 人と最も多く、次いでいわき市から 1,616 人と多くなっています。



※通勤・通学での流動が多い自治体を掲載
出典：令和2年国勢調査

②代表交通手段

主な交通手段として、自家用車が選択されており、その使用率は 90.5%で、茨城県平均と比較しても 1.4 ポイント高い数値を示しています。

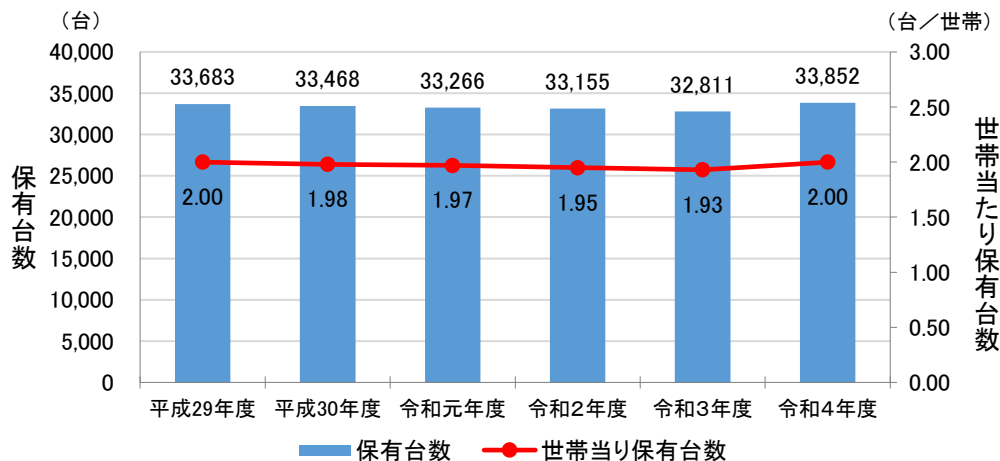


出典：令和2年国勢調査

③自動車保有台数及び免許保有者数の推移

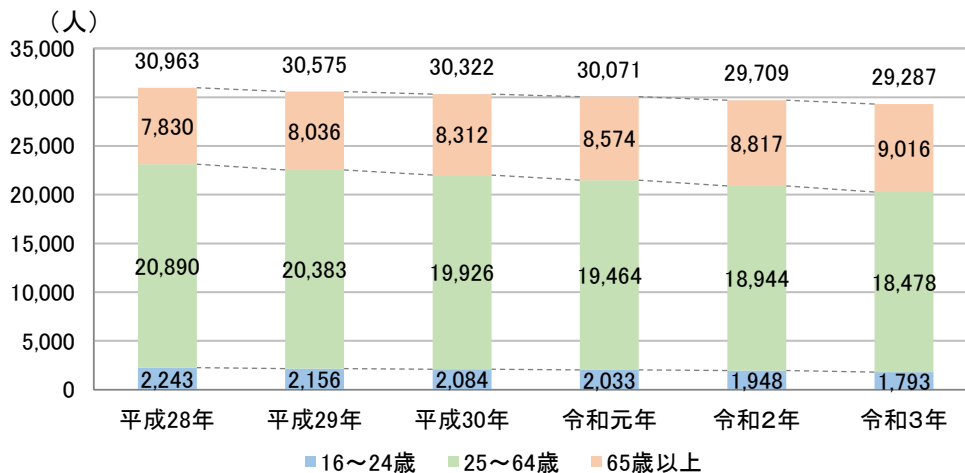
自家用車保有台数は、令和4（2022）年3月時点で33,852台となっています。
また、年齢層別免許保有者数は、65歳以上の層において増加傾向が続いています。

■自動車保有台数（乗用車＋軽自動車）の推移（北茨城市）



出典：統計きたいばらき

■年齢層別免許保有者数の推移（北茨城市）



出典：交通白書（茨城県警）

1-2 公共交通の現況把握

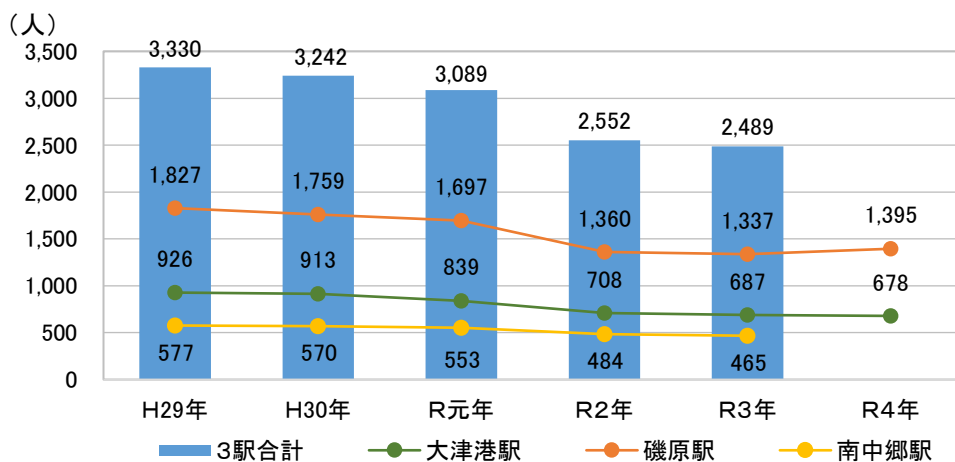
(1) 鉄道

市内の鉄道は JR 常磐線が南北に走っており、南中郷駅、磯原駅、大津港駅の3つの鉄道駅があります。

市民の通勤通学の拠点として、また、市を訪れる観光客の拠点としての役割を担っています。

令和元年度の3駅の1日平均乗車人員は3,089人で、令和元年度までは年々減少傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり2,552人と令和元年度と比較し82.6%と大きく減少し、令和3年度においてもほぼ横ばいとなっています。

■市内鉄道駅の1日平均乗車人員の推移



出典：統計きたいばらき

※南中郷駅は無人駅のためR4年以降は数値なし

(2) 高速バス

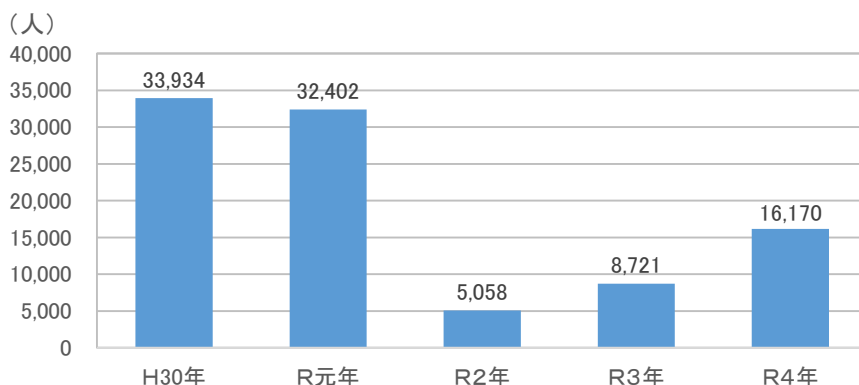
高速バスは、東京方面、バスタ新宿方面、東京ディズニーランド方面、仙台方面と4路線が運行し、乗降者数は年間3万人程度で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、東京方面のみの運行になったこともあり、令和2年より激減しています。しかしながら、行動制限の解除等により現在は回復傾向にあります。

■各路線の運行概要

路線	方向	便数	
		上り	下り
いわき号	いわき・北茨城 ↔ 浅草駅・東京方面	上り	平日 18 休日 20
		下り	平日 18 休日 20
新宿いわき号	いわき・北茨城 ↔ 王子駅・バスタ新宿	上り	平日 3
		下り	平日 3
東京ディズニー リゾート線	北茨城 ↔ 東京ディズニーリゾート	上り	全日 2
		下り	全日 2
仙台線	北茨城 ↔ 相馬・仙台駅	上り	全日 1
		下り	全日 1

※令和5年8月1日現在、「新宿いわき号」は、運休となっています。

■高速バス年間乗降者数



出典：北茨城市資料

■年間乗降者数

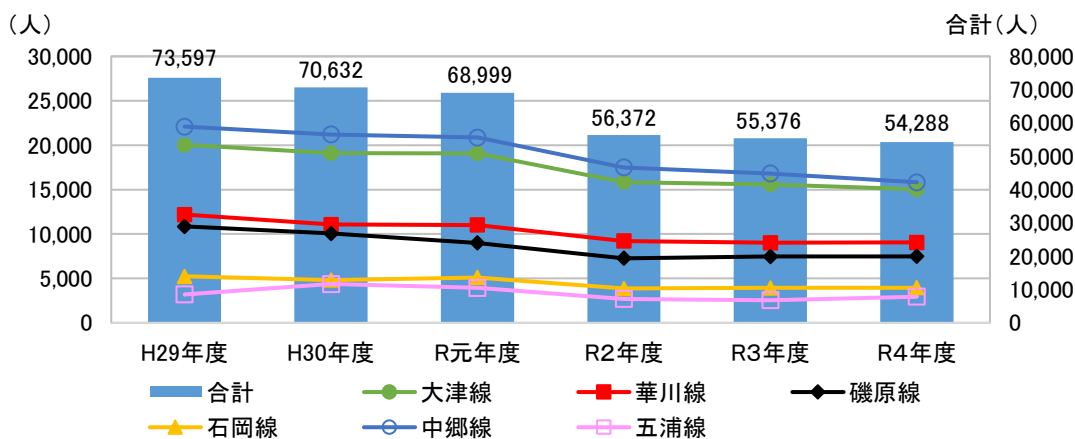
(3) 市巡回バス

市巡回バスは、現在平日のみ6路線が運行しています。年間利用者数は、平成29年度から減少傾向になり、令和4年度は54,288人と平成29年度と比較し73.8%まで減少しています。

■各路線の運行概要

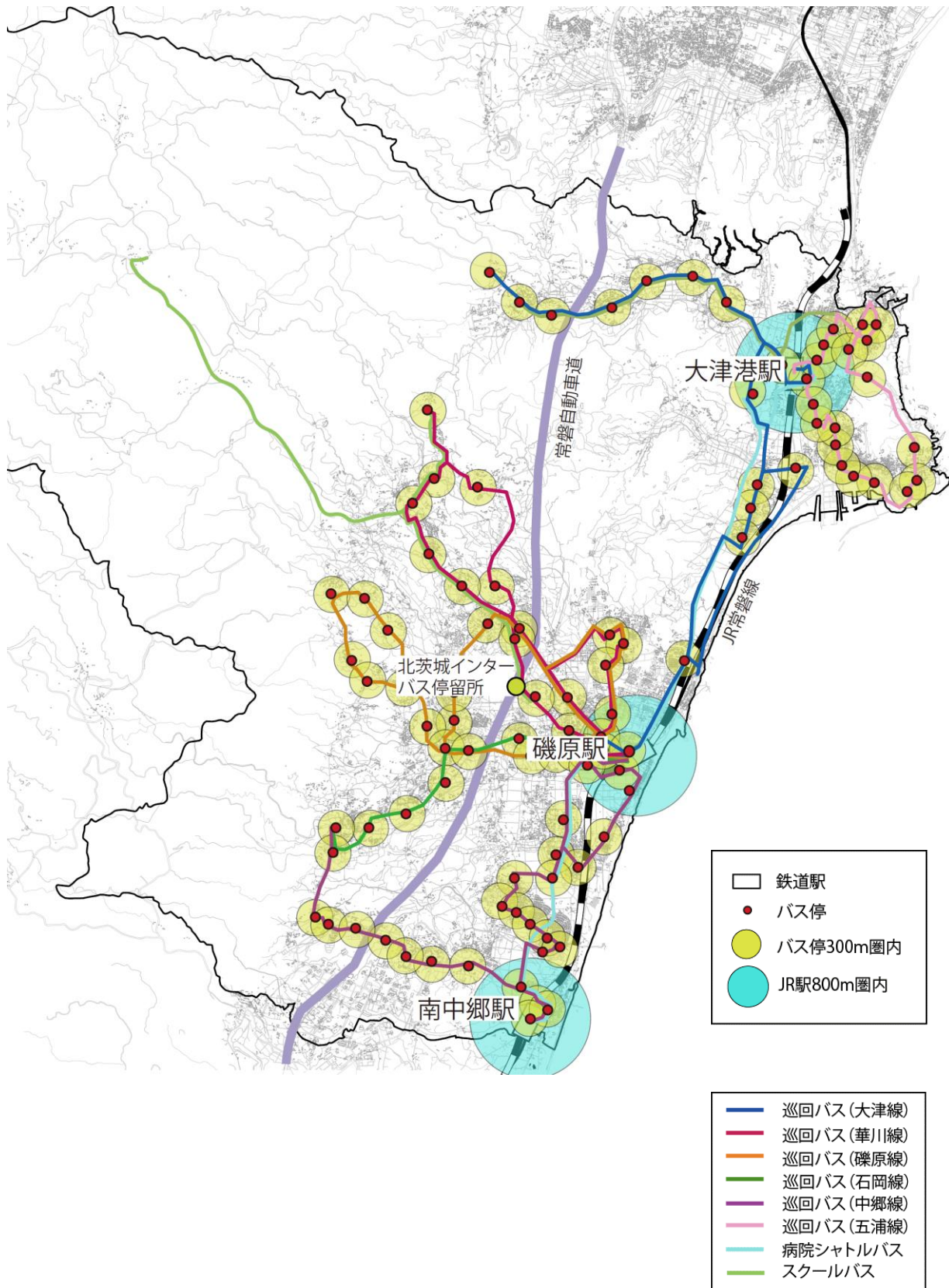
路線名	運行区間	運行曜日	便数
大津線	富士ヶ丘～大津港駅～市民病院前～磯原駅西口 ～市民病院前～大津港駅～富士ヶ丘	月・水	5便
		火・木・金	5便
華川線	磯原駅西口～中妻～小豆畑～(駒木、臼場)～磯原駅西口	月～金	7便
磯原線	磯原駅西口～(駒木、臼場)～中妻～下相田～木皿～重内～内野～旧磯原中学校～磯原駅西口	月～金	7便
石岡線	石岡スポーツ広場前～大塚～豊田～磯原駅西口	月～金	5便
五浦線 (外回り)	大津港駅～平潟漁港～五浦美術館前～大津漁港 ～大津港駅前	火・木・金	3便
五浦線 (内回り)			3便
中郷線	石岡スポーツ広場前～日棚～南中郷駅前～汐見ヶ丘～松井～上桜井～磯原駅西口	月・水	6便
		火・木・金	6便

■路線別の年間利用者数



出典：北茨城市資料

■バスのネットワーク及び利用圏域図



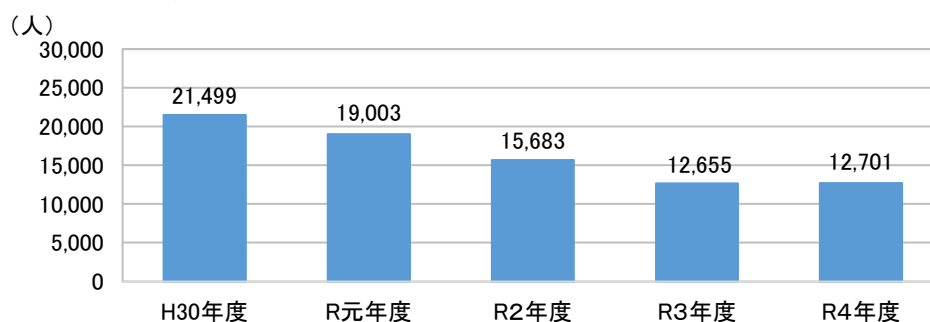
(4) 路線バス（令和5年10月2日から市巡回バスへ移行）

路線バスは、茨城交通（株）により南中郷駅を起終点として1路線が運行していました。利用者数は年々減少傾向にあり、令和4年度は平成30年度と比較し59.1%減少しています。

■運行概要

運行区間	運行会社	便数	
		方向	平日
南中郷駅～グリーンヒル中郷	茨城交通（株）	上り	7便
		下り	6便

■年間利用者数



(5) 一般タクシー

市内のタクシーは、4社のタクシー事業者により運行されています。

■タクシー事業者の概要

会社名	所在地	車両保有台数
(有)太陽タクシー	北茨城市関南町神岡下 2961	7台
(有)中郷タクシー	北茨城市中郷町小野矢指 179-5	9台
(有)平和タクシー	北茨城市大津町北町 4-7-1	7台
新星タクシー（株）	北茨城市磯原町本町 2-4-3	17台

出典：茨城県ハイヤー・タクシー協会ホームページ

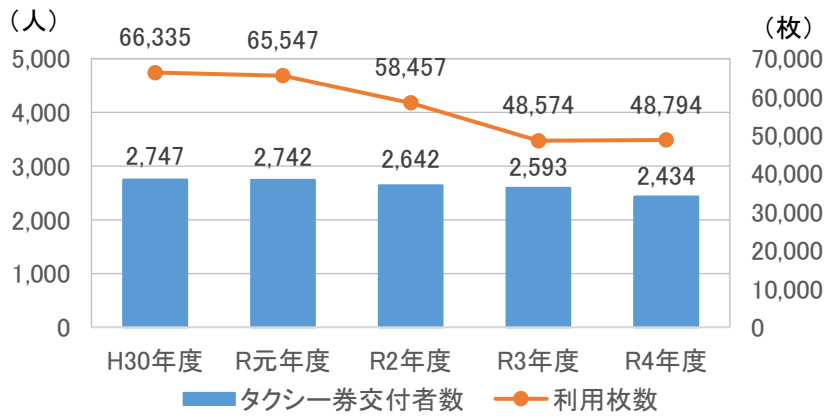
(6) 北茨城市地域交通利用料金助成事業（タクシー助成券）

市では自動車やバイクの運転免許がなく、バスやタクシーなどを使わなければ通院や買物などの移動が困難な方のため、タクシーを利用した際の利用料金の一部を助成する事業を行っています。

■高齢者タクシー料金助成事業の概要

対象者	以下条件のいずれにも該当する者 (1) 市内に住所を有し、かつ、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)の住民基本台帳に記録されている者 (2) 運転免許証の交付を受けていない、もしくは返納した者 (3) 65歳以上の者 (4) 市税等の滞納がない者
------------	---

交付者数は年々減少傾向にありましたが、利用枚数は令和3年度から横ばいになっています。



(7) 北茨城市重度障害者通院等交通費助成事業

市では障害のある方の通院や社会生活上必要不可欠な外出のため、タクシーを利用した際の利用料金の一部を助成する事業を行っています。

■障害者タクシー料金助成事業の概要

対象者	身体：1級、2級、3級の1種 療育：O A、A 精神：1級、2級
------------	--

(8) 市民病院シャトルバス

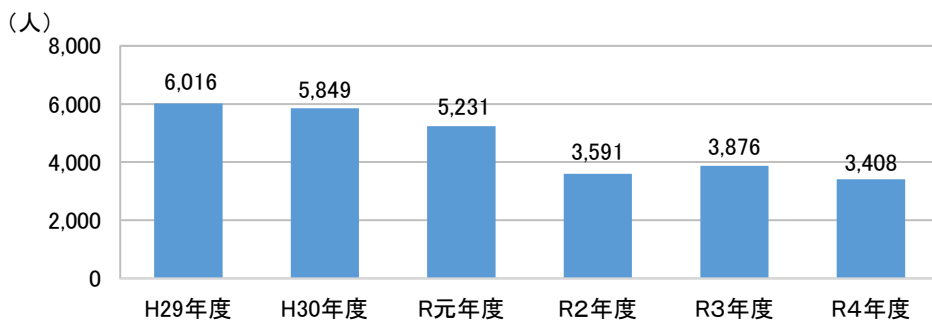
市民病院の開院に伴い、病院と市内各駅を結ぶ「市民病院シャトルバス」を運行しています。

年間利用者数は減少傾向にあり、令和4年度は3,408人と平成29年度と比較し56.6%まで減少しています。

■運行概要

	運行区間	運行曜日	便数
市民病院行	南中郷駅→磯原駅(西口)→大津港駅 →市民病院	月曜～金曜	4便
		第1、3、5土曜日	3便
市民病院発	市民病院→大津港駅→磯原駅(西口) →南中郷駅	月曜～金曜	4便
		第1、3、5土曜日	3便

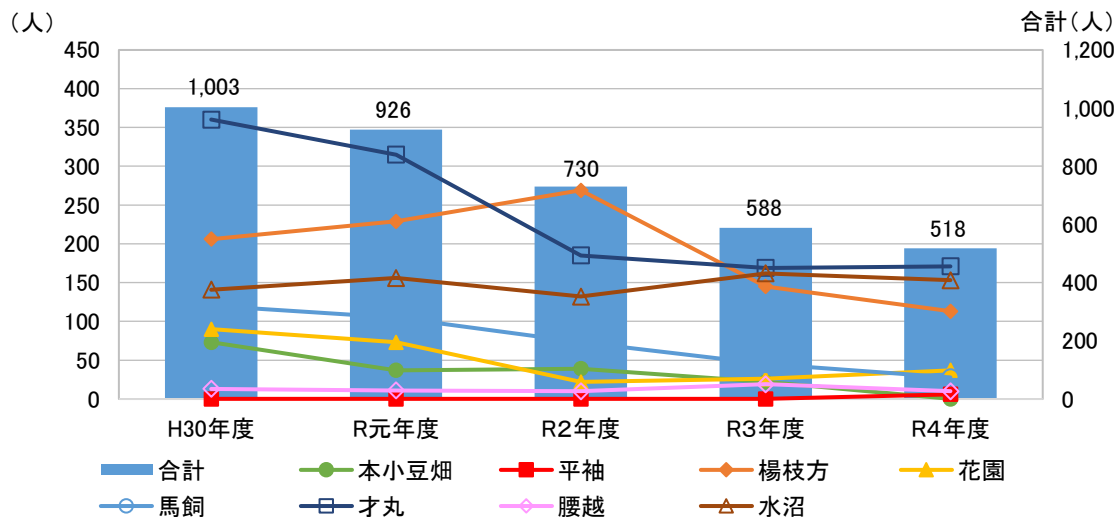
■年間利用者数



(9) 患者輸送車（みどり号）

交通の不便な山間地における患者のために、無料の「患者輸送車（みどり号）」を市直営事業として運行しています。年間利用者数は減少傾向にあり、令和4年度は518人と令和元年度と比較し55.9%まで減少しています。

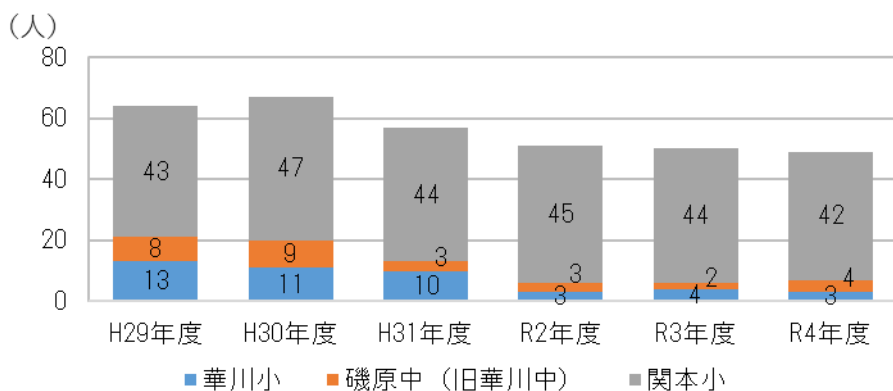
■路線別の年間利用者数



(10) スクールバス

スクールバスは2事業あり、①華川小学校、磯原中学校児童生徒用と②関本小学校児童用のバスを運行しています。関本小学校の利用者数は横ばいで推移していますが、華川小学校及び磯原中学校の利用者数は減少傾向にあります。

■路線別の利用者数



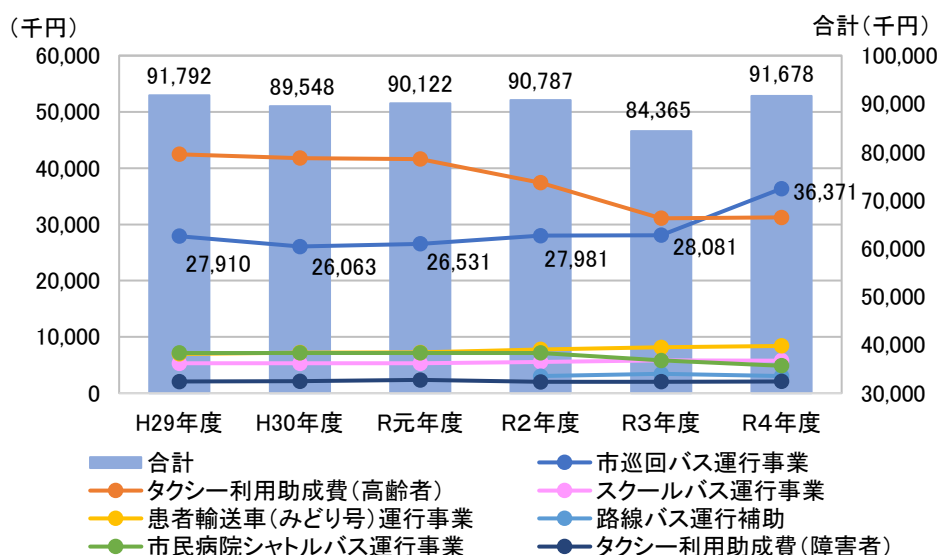
(11) 公共交通等移動支援行政負担額

■公共交通等移動支援行政負担額の推移

(単位：千円)

路線名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
市巡回バス運行事業	27,910	26,063	26,531	27,981	28,081	36,371
タクシー利用助成費 (高齢者)	42,472	41,791	41,621	37,412	31,087	31,228
スクールバス運行事業	5,290	5,290	5,290	5,538	5,840	5,761
患者輸送車(みどり号) 運行事業	6,960	7,181	7,218	7,755	8,142	8,384
路線バス運行補助	—	—	—	3,000	3,400	3,000
市民病院シャトルバス 運行事業	7,128	7,128	7,128	7,128	5,808	4,871
タクシー利用助成費 (障害者)	2,032	2,095	2,334	1,973	2,007	2,063
合計	91,792	89,548	90,122	90,787	84,365	91,678

出典：北茨城市資料



(12) 食料品等移動販売サービス(行商サービス)

新型コロナウイルス感染症流行で外出困難な人や買物に出かけにくい人、交通手段のない人などに、週3回市内各地で日用品や食料品などの移動販売を行っています。

- ・曜日：月、水、金
- ・時間：10:30、11:00、11:30、14:00、14:30、15:00